

令和2年度 第1回銚田市総合教育会議 議事録

1 日 時 令和2年6月25日(木) 開会 13時30分 閉会 14時50分

2 会 場 銚田市旭総合支所2階会議室

3 出席者 銚田市長 岸田 一夫
銚田市教育委員会 教育長 石崎 千恵子
同 委員 山口 正雄
同 委員 山口 和子
同 委員 飯島 功成

【説明員】

教育部長	二重作 勝
教育部 参事兼指導課長	宮内 孝浩
教育部 指導課副参事	河原 真樹
教育部 教育総務課長	宮本 三郎
教育部 教育総務課長補佐	菅谷 智一
政策企画部長	岡崎 正元
政策企画部 政策秘書課長	竹内 正利

【事務局】

副市長(オブザーバー)	寺門 利幸
総務部長	関谷 公律
総務部 総務課長	岡部 成美
総務部 総務課長補佐	箕輪 伸一
総務部 総務課行政係長	小沼 裕一

傍聴者 3名

4 議事の概要

○開会 (司会：岡部総務課長)

○岸田市長あいさつ

みなさんこんにちは。本日はお忙しい中、銚田市総合教育会議に出席いただきありがとうございます。また、教育委員の皆様には、日頃より本市教育行政にご尽力賜り、心から感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルスについては、社会、経済をはじめ各分野において甚大な影響を及ぼしているところであります。教育の分野においてもその影響は大きく、とりわけ児童・生徒は一斉休校という措置により、その負担はとりわけ大きかったと思われます。

市内小中学校については、分散登校を経て、6月8日から再開したわけであります

が、新型コロナウイルス感染については、全国的事例からも第2波、第3波が懸念されるところであります。

本日の議題でもありますように、学校においても「学校の新しい生活様式」のもと感染防止に心がけていくわけですが、「WITH コロナ」と言われますように、新型コロナウイルスへの感染防止対策と学校教育活動を両立させていく必要があります。つまり、今後教育現場においても、新型コロナウイルス感染症とつきあいながら、子どもの健やかな学びの保障について、いかに両立を図っていくかが最大の課題であります。そして、地域の宝である子どもたちの教育のため、学校・家庭・地域が連携していくことこそが求められていると考えております。

さて、本日の会議については、1件の案件を予定しており、積極的な意見交換を行いたいと思いますので、忌憚のない意見をお願い申し上げます。本日はよろしくお願い申し上げます。

○協議事項（議長：岸田市長）

「新型コロナウイルス感染症対策及び学びの保障について」

（教育総務課 宮本課長 / 指導課 宮内課長）

【主な質疑等】

【岸田市長】 ありがとうございます。では早速意見交換に入るにあたり、改めて確認させていただきますが、この会議については、何かを決定する場ではなく、教育委員の皆さんと協議を行う場ですので、活発なご意見をお願いいたします。

【岸田市長】 まず、先ほどの説明があった中で、感染症予防対策についての意見交換を行いたいと思います。まず私としては、感染症の予防に関しては、家庭での実践が重要であり、いかに家庭においても協力体制を構築できるのかというところが大きな課題であると認識しています。また、学校現場においては、集団感染リスク回避への対応は当然必要であります。一方で教育活動も両立させていかなければならない観点からは一定の緩和も必要であると考えています。

【石崎教育長】 保護者の方に家庭での感染予防については、国、文部科学省から新型コロナウイルス感染症対策において、新しい生活様式を踏まえた家庭での取り組みのチラシを各保護者に配布するとともに各小中学校のPTA会長宛てには取り組みの協力依頼通知をさせていただいているところです。

【岸田市長】 学校教育は、学校の中だけでなく、家から学校に登校するわけで、要するに家庭からスタートするわけで、そのような観点からも新型コロナウイルス感染対策においても家庭から（意識をもって）スタートしてもらうことが重要

ではないでしょうか。

【石崎教育長】市P連の役員の方に対して説明した際には、子どもたちは手洗いを含め感染予防をしっかり行っているが、保護者の方が徹底できていない、市外、県外への通勤者もいるので、保護者の方がより意識をもつべきなどの意見はあったところです。

【飯島功成委員】大洋地区のPTAの会議が明日あるのですが、そこにスポーツ少年団などの代表の方も出席予定ですが、事前に皆さんと話す機会があり、そこでは、保護者の方も感染対策にはかなり気を使っているという印象でした。

【岸田市長】やはり、子どもも大人も同じように感染対策の意識を持っていくことが重要です。

【飯島功成委員】子どもたちが、大人が帰ってきた際に、手洗いを促すような家庭も多いと聞いていますので、このように良い方向に進んでいければと思います。

【山口正雄委員】今回の新型コロナウイルスについては、初めての経験であり、情報が少なく、学校、先生方、教育委員会の対応はとても大変だったと思います。しかしながら、少しずつ新型コロナウイルスに関する情報も出てきていることから、徐々に対策を講じることも可能ではないかと思います。資料4、5のとおり完全休業から分散登校を経て、子どもたちが学校で学べるという状況になったことは非常に良かったと思います。ちなみに孫の事で恐縮なのですが、今回このような状況で、クラス替えがあり、多少不安定になっている様子も見受けられましたので、対応も必要ではないでしょうか。また、子どもたちの家庭での学習ですが、先ほど説明でもありましたが、支援システムを子どもだけでは使いこなすのが難しいと思います。私自身、文科省のページにアクセスしましたが、そこにたどり着くまでも大変でした。茨城県のサイトも見ましたが、教科書を脇において、動画をみるというスタイルでしたが、教える方も相手の顔が見えませんので、どんどん進んでいってしまうというような印象を受けました。学校も今までと全く一緒というわけではありませんが、通常に近いかたちでの登校が始まりましたが、コロナウイルスとはこれからも長いスパンで付き合っていかなければなりませんので、その中で子どもたちの不安をいかに解消していくのが大きな課題になってくるのではないのでしょうか。もうひとつは、分散登校の際に、これは家庭の状況にもよりますが、給食がなくなったことにより、食費がかなり高くなったということがあります。子どもが一番バランスよく栄養をとるのが給食であるという家庭も無きにしも非ずなので、今後分散登校となった場合でも給食が提供できれば良いのかなと思います。これにより雇用の問題も解決できるのかと思います。また、食材を卸している業者なども大きな影響を受けるわけで、学校が閉まってしまうと、こんなにも影響があるのかと改めて実感したところです。学校単体でなく、地域経済の経済的観点からいろいろな考えていかなければと思いました。

【岸田市長】 山口委員から様々なお話をいただいたところでありますが、お孫さんをお持ちの立場からの意見も大変参考となります。子どもたちの不安の解消、経済的な影響を考慮した上での分散登校の際の給食のあり方など、今後改めて検討していくべき課題であろうかと考えています。

【石崎教育長】 山口委員の発言のとおり、低学年、特に小学校1年生は数日の登校で、すぐに休みに入ってしまったわけで、その間、家庭での苦労もあったと思います。そのような状況で、特に心のケアが必要であると考えています。教育委員会としても、分散登校が始まってすぐにアンケートを行いました、「コロナウイルスへの感染の心配」、「勉強の遅れに対する不安」、「友達づきあいへの不安」など様々な不安を抱えながら家庭で生活していたことが把握できました。アンケートの実施により、子どもたちの心の内が垣間見えたので、各学校において担任教諭だけでなく、養護教諭、さらには教頭、校長も入って対応してきたところです。今後も、学校職員が一丸となって子どもたちに対応していくと同時に、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用、市子ども家庭課との連携を図って、心のケアに努めていきたいと考えています。また、オンライン授業の話がでしたが、実際、低学年の子どもが扱うのは難しいというのが正直な実感であります。市では1人1台のタブレット導入を予定していますので、導入しましたら、普通の授業の中で、使い方などをしっかり指導していきたいと思います。それにより、今後第2波、第3波により学校の休業の場合に、家庭での学習が充実できるように努力していきたいと考えています。また、文部科学省も私たち市教育委員会としても、できる限り学校は休業としない方針であります。先日の文部科学省の発表においても、現時点において学校においてクラスターは確認されていないとのことであります。北九州市の事例も調査中ですが、学校内でのクラスター発生とは言い難い状況であるとのことであります。高齢者と比較すると小中学生の感染率は低いとの数値も出てきていますので、このようなデータも活用しながら、新型コロナウイルス感染症の予防の徹底を図りながら、学校は休業せずに行う方向で進めていきたいと考えています。

【岸田市長】 国の指針に基づき各対応をとることも当然ではありますが、市としてできることは、積極的にプラスアルファで実施していきたいと思います。

【山口和子委員】 ドアノブ、手すり、トイレなどについては1日1回以上消毒を行うとのことですが、これはどのように実施されているのですか。

【宮内指導課長】 幼稚園も小中学校も職員が行っています。実施の時間帯については基本的には放課後となります。また、体育などで使用した道具類については、用務員などが使用後に消毒を実施しています。さらに、ドアノブなどについては都度消毒を行う場合もあります。

【山口和子委員】 スクールバスについては、分散登校の際には増便されていたと思いますが、その後通常登校になった際の密集度はどのようになっていますか。

【宮内指導課長】スクールバスについては、確かに密になっている状況ではあります。しかしながら、職員が分散登校時及び通常登校から1週間の間は同乗し、スクールバスに乗る際の注意事項を十分指導しています。さらに、教室内でも同様の指導を行い、3密が避けられない状況においても最大限できることをしています。

【山口和子委員】通常ですと、4月5月は子どもたちの健康診断をする時期ですが、コロナの影響で歯科検診や健康診断が延期になっていると思うのですが、実施していれば視力の結果はどうなっているのでしょうか。ニュースなどでパソコンやスマホの使用による視力の低下が言われていますが、本市ではどのような状況でしょうか。

【宮本教育総務課長】例年健診は、4月から5月に実施していますが、今年度については、健診協会から延期の通知が来ており、まだ実施していません。

【石崎教育長】今週から、学校の管理訪問を実施しており、養護教諭と話をしましたが、まだ視力の著しい低下は確認できていませんが、今後視力の低下については注視していきたいと思います。

【山口正雄委員】先ほど、職員が殺菌や除菌などの業務を行っているということでしたが、通常業務に加えてコロナ対策ということで教員の負担が増えてきていると思います。それでなくても教員の労働時間は他の業種より多いということで、教員を減らしてきたという歴史もあるわけですから、教員の増員などを国に要望していくことは必要だと思います。教師が本来の業務に集中できるような体制づくりが必要ではないでしょうか。また、スクールバスの関係ですが、資料6には事業者が陽性反応又は濃厚接触者が発生した場合には、運行を停止するとありますが、この場合の児童の通学手段はどのようなになるのですか。

【石崎教育長】この通知（この決定）は、4月6日のもので、この時点においては、緊急事態宣言等の話もあり、とにかく児童の安全を第一として決定したものであります。現在は、その時と状況も変化していますので、この運用について見直しが必要であると考えております。また、引き続き、運転手の方には感染防止の徹底をお願いしていきます。なお、スクールバスの増便の予算措置もしていますので、そちらも活用しながら、児童の通学に支障をきたさないように努めていきます。

【岸田市長】感染症予防対策ということで、議論は多岐に渡りましたが、今後検討が必要な部分はきちんと検討していく必要があります。次に、感染が広がった場合における対応としては、これは資料のとおり今後さらに進めていく必要があると考えています。さらに、学習活動の重点化についてであります。今回の新型コロナウイルス感染拡大防止のために、児童生徒の学習が遅れを生じている状況は間違いないのですが、特に小学校6年生、中学3年生における学習

活動の影響が懸念されます。これについてのご意見があればお願いいたします。

【山口正雄委員】まず、高校入試の件ですが、日程と出題範囲に変更はないということですが、これはどの生徒も（他市町村も）条件は同じでしょうから。これから夏休みなどの調整の中で、遅れを取り戻すわけですが、時間的制約もあるもので、大変厳しいと思います。これは、中学校3年生も小学校6年生も小学校1年生、その他の学年も一緒だと思いますが。小学校6年生に関しては、中学校で何とか学習の機会を設けることもできると思いますが、中学校3年生の場合はそれができないので、そのへんをどのように計画しているのですか。

【石崎教育長】学習指導要領において、1年間35週授業を行い、国語なら何時間、数学なら何時間という規定になっています。いまのところ鉾田市においては、夏休みを短縮して10日間とする、さらに冬休みも短縮するなどして、計算上では37週分の授業を確保できる見込みであります。6月から8月については、今までの時間割どおり実施し、9月以降は、週に1日程度、授業時間を短縮（45分授業を40分授業とするなど）した上で、授業を1コマ増やす検討もしているところです。また、土曜日にも授業を実施しても良いという通知もきているところではありますが、土曜日に授業を実施すると、週休日ですので、教員に代休を取得させる必要がでてきます。夏休みや冬休みが短縮となることから現実的には振休を取得させることは難しいことから、授業日として土曜日を設定することは予定しておりません。しかしながら、特に中学校3年生の学力の保障は重要な課題でありますので、授業日としての設定以外の方法についても、検討していきたいと考えています。

【岸田市長】何とか鉾田は鉾田の独自性を出していきたい。予算措置（を先に考える）というより、とにかく子どもたちのためにできることはやっていきたいと思います。鉾田市は子どもを大事にしていくという強い想いでやっていきたいと思います。そのためには、有効なものには予算措置は思い切ってやっていきたいと思います。本日は傍聴に議員の方も見えていますが、同じ想いだと思います。

【石崎教育長】教育委員会としても、子どもの学力の保障、特に中学校3年生に対する政策については、提案させていただきたいと思います。

【岸田市長】何年か後に、あの時はコロナウイルスの影響で学力が低下したと言われないうように何とかやっていきたいとの思いで、皆さんで知恵を出し合っていきたいと思います。

【飯島功成委員】例えば、スポーツ活動に関していうと、サッカーであれば日本サッカー協会と茨城県サッカー協会との考え方には大分温度差があるように感じます。鉾田モデルということであれば、このへんの考え方も地域の理解を得なが

ら、銚田の独自の考え方などを打ち出すことも可能なのではないのでしょうか。WITH コロナといわれている中では、子どもたちの意識改革も必要です。「コロナがある中で生きていく。」という意識をもって、様々な活動をしていくべきだと思いますし、例えば、先ほど消毒を学校の先生方がやっているという話が出ましたが、これを子どもたちにやらせるというような取り組みも良いのではないのでしょうか。子どもたちの中で、コロナがあったから、このような取り組みが出来たというような、いわゆるピンチをチャンスに変えていく取り組みを是非やっていくべきではないのでしょうか。守るというより、たくましく、コロナと共存していけるような教育の方向性が必要ではないかと節に考えます。

【岸田市長】 ただいまの飯島委員の発言のとおりだと思います。今大変な状況であります。従来の方の考え方の転換を図り、子どもたちが成長できるようにしていかなければなりません。そのためにも市、教育委員会、学校などが一丸となって取り組んでいく必要があります。本日の議論もそれぞれが持ち帰り、検討していきたいと思います。

【飯島功成委員】 今回の新型コロナウイルス感染症対策においては、情報共有及び情報管理のあり方が非常に重要であると思います。情報共有及び情報管理の方法を誤ると、例えば濃厚接触者としてPCR 検査を受けたがために、いじめに繋がってしまうなどの懸念もあります。また、市と教育委員会等との連絡体制は迅速な体制となっているのですか。

【石崎教育長】 基本的に、市の新型コロナウイルス対策本部会議において、情報共有を図っています。また、PCR 検査等の情報については、県保健所から市の担当課への連絡があることから、教育委員会と市の担当課では連携を密にしているところです。なお、現在市においては、実際事例が発生しておりませんが、随時見直しを図っていきたくて考えております。

【山口正雄委員】 運動部活動についてですが、例えば高校野球などでは、県レベルでの大会を開催するような動きであると思いますが、中学校の対外試合などはどのような状況ですか。

【石崎教育長】 例えば、野球やサッカーなど、市内の中学校にそれぞれある部活動については、銚田市内の大会として、3 年生最後の大会として、中体連が中心となって開催する予定です。時期としては、7 月の連休のあたりを想定していると聞いております。しかしながら、バドミントンや男子バレー、柔道、水泳などの部活動については、県東地区レベルでの開催や県レベルでの開催を検討しているところです。

【山口和子委員】 学習ももちろん大事なのですが、子どもたちは、学校行事も楽しみにしていると思いますが、遠足や修学旅行については、実施の方向なのではないでしょうか。

【石崎教育長】現時点では、時期を遅らせて実施する方向で調整しています。修学旅行については、本来5月から6月に予定していましたが、延期して9月から10月にかけて市内4つの中学校で予定しています。しかしながら、例年実施している京都・奈良方面の状況や飛行機、新幹線などの公共交通機関の利用など総合的に実施も含めて判断していかなければならないと考えております。なお、最終的には8月20日あたりを目途に決定していく予定です。

【岸田市長】 本日の議題については、市としても教育委員会としても良く検討していきたいと思います。

協議事項は、終了しましたが、鉾田市教育大綱についてお願いがありますので、よろしくお願いいたします。お手元に、鉾田市教育大綱を配布させていただきましたが、現在の鉾田市教育大綱は、「夢と希望をもち、未来を拓く心豊かな人づくり」を教育理念とし、令和2年度までの5年間の計画であります。今年度、新たに令和3年度から令和7年度までの教育大綱を策定いたします。本大綱については、私が大切にしている教育の考えを教育委員会と共有しながら、「鉾田市教育振興基本計画」と整合性、連動性を図っていくものでありますので、策定にあたり、今後教育委員会としてのご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、以上で議長の職を解かせていただきます。ご協力ありがとうございました。

○ 閉 会（司会：岡部総務課長）